

あしだ 泰宏

やすひろ

倉敷市議会議員

議会報告

2024 冬

最幸のまち
倉敷市へ



芦田泰宏（あしだやすひろ）プロフィール

- 1966年倉敷市生まれ ■ 県立児島高校・早稲田大学法学部卒業 ■ 学生時代にブラジル交換留学
- 総合商社三井物産で25年間勤務 元ロサンゼルス支店長 ■ 参議院議員 片山虎之助元秘書
- 平成29年より、2度倉敷市議会議員選挙に挑戦するも、連続次点 ■ 令和3年1月 初当選（全体1位）
- 保健福祉委員会所属 ■ 児島観光ガイド協会理事、児島ライオンズクラブ第二副会長、玉野・児島倫理法人会会長、晴れの国おかやま検定「達人」、行政書士資格有 好きな言葉：挑戦と創造

児島地区公共施設再編計画について勉強会を開催しました

R5年10月に行われた市のパブリックコメント募集に際し、計画の全体像や、児島文化センターの利用状況、市立短期大学の現状などについて知る勉強会を開催しました。2会場で合計4回にわたり行い、多くの市民のみなさんのご参加を得て、活発な質問や意見が出されました。

（写真は11月2日琴浦会場の様子）



質疑内容の一部をご紹介します 令和5年9月議会

まちづくり

児島海技大学校跡地への公園新設案

Q 倉敷市立短期大学移転による児島公園の縮小を背景に、海技大学校跡地の一部に公園を新設する案がある。周辺の住民や企業から、重工業団地内に市民の憩いの場を設けることは、安全、環境面等で適切でないとの反対の意見がある。今後の対応についての現時点での見解は？

A いろいろな意見を頂いている。反対意見も踏まえ方針を検討していく。

今後の活動

皆さんの声、
市政へのご要望をお寄せください。

下に記載の携帯、メール、ファックス何でも結構です。メール、ファックスの場合は、折り返しご連絡するときの連絡先を書いてください。

ミニ集会に呼んでください。

3人集まったらミニ集会！
ぜひ！お声がけください!!



ラジオ番組やっています!

番組名：「新風くらしき市議会ラジオ」 FMくらしき 82.8MHz
毎月第4火曜日 19:30～20:00
市議会を身近に感じて頂くため、会派のメンバーと一緒にやっています！
もうすぐ30回を迎えます。

発行：あしだ泰宏 事務所

TEL 090-2521-1185 (本人携帯)

FAX 086-426-3756

E-Mail ashida@mbrcc-ckoj.jp



あしだ泰宏
公式ホームページ



ブログ
あしたを創るあしだです!



フェイスブック
あしだ泰宏



あしだ泰宏チャンネル
あしたを創るあしだです!



X
あしだ泰宏

自宅・事務所：〒711-0906 倉敷市児島下の町 7-1-31
上東ベース：〒701-0111 倉敷市上東 1016-4-110
議会控室：〒710-8565 倉敷市西中新田 640 (新風くらしき控室)

皆さまの声を議会にとどけています。



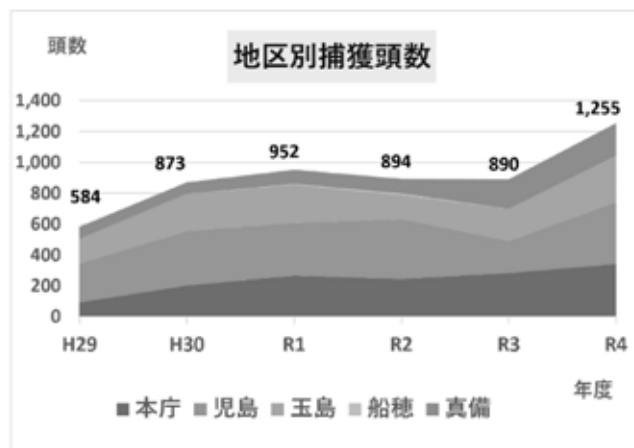
暮らしの安全・安心

イノシシ対策について

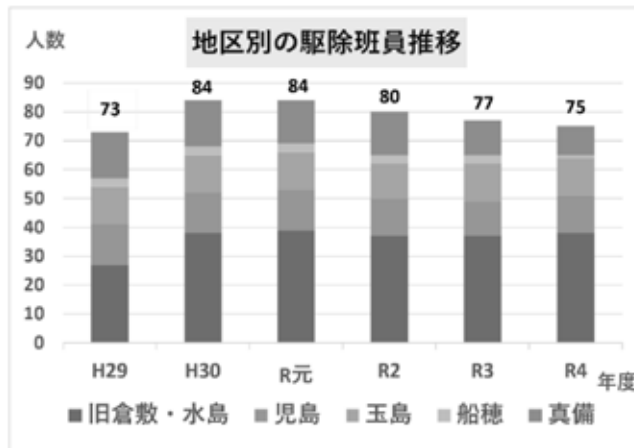
- Q. イノシシの脅威が上昇中。そもそもワナの数がかく足りておらず、これがイノシシ増勢を止めることができない原因ではないか。ワナを増やして捕獲を強化できないか？**

現在市内には合わせて800基前後のわながあり、これが現在の猟友会駆除班が見回りできる上限。これ以上の対策には、県主体の捕獲等事業の実施が必要で、市長会などを通じ県に依頼中である。

- 野生鳥獣の数の管理は県の責任というのが市の立場。
県内先進自治体並みの多様な対策の展開を求めてまいります。



捕獲頭数は高水準で推移。
R4年度は児島地区で冬場の駆除活動開始により急増。



駆除班員数は年を追って減少傾向。

- Q 県内の他の自治体では、駆除班に連携する住民組織を作り、捕獲活動を拡大している。意欲のあるモデル地区で試験的に始めてもいいので、捕獲活動に参加する住民組織の制度を作ってもらえないか。**

- A 住民の鳥獣害対策への意欲と自衛意識の向上を図ることがまず必要で、市では鳥獣被害対策実施講座などの実施を通じて、意欲と意識の向上を図っている。
→ 答弁の議論がかみ合っておりません。地域住民の協力の制度化と支援を求めていきます。

人口減少とインフラ

下水道網拡大の終了

- Q 下水計画区域が変更され、将来にわたって倉敷市下水道網には接続されない地域があると聞く。公式な説明を。**

- A 国土交通省から人口減少や厳しい財政事情を踏まえ、令和8年までに汚水処理施設整備を概ね完了するよう要請されていること、未整備の市街地調整区域では効率的な整備が見込めないなどの理由から、計画地域を縮小する予定。内容についてのパブリックコメントも実施した。

→変更後の整備計画地域は、岡山県作成の[\(検索「クリーンライフ100構想」\)](#)で見ることができます。

質疑内容の一部をご紹介 令和5年6月議会

人口減少問題

空き家対策について

- Q 市外に住む空き家所有者に対し、空き家を放置した場合のリスクやコストを知らせるなどの啓発を強化しては？ また解体費用をシミュレーションして知らせる外部サービスを導入しては？**

- A 市外在住の所有者への啓発は必要。解体シミュレーションの他、民間事業者による空き家相談・啓発事業なども参考にしつつ空き家を一層進めていく。

→次の要望をしました。

- 管理が不十分な空き家を通報した市民は、その後の市の対応・進捗状況が分からないので不安となっている。市の対応の現状が迅速に伝えられる仕組みを作って欲しい。
- 京都市での空き家への課税強化など、空き家の増加抑制に向けた課税強化や税制優遇に取り組む自治体が増えている。本市においても税制に踏み込んだ空き家対策を要望する。